

[第13回]

GSRC seminar

National Center for Geriatrics and Gerontology, Research Institute

高齢者糖尿病における 「より質の高い血糖管理」を目指して

代謝・内分泌研究部

大村 卓也 副部長

2023年3月15日(水)14時00分～

第1研究棟2階小会議室

成人の糖尿病患者における65歳以上の者の割合は約半分と考えられている。患者層の高齢化に伴って、糖尿病治療の考え方や在り方も大きく変わりつつある。高齢者の糖尿病では、治療によるメリット（高血糖の是正、合併症の発症進展予防）とデメリット（低血糖、厳しい食事指導による低栄養・フレイル・サルコペニアの懸念、食の楽しみの低減など）のバランスをいかにとるかが特に大切になる。

標準体重ではなく目標体重を用いた柔軟なエネルギー摂取量の設定や(Omura, et al. Geriatr Gerontol Int, 2020), 患者背景をもとに治療目標を個別化して設定することが(Omura, et al, Geriatr Gerontol Int, 2021 & 2022), 具体的には重要になる。

さらに‘質の高い’糖尿病治療を実践するためには、高齢患者において「持続グルコースモニター」の利用拡充が鍵になる。今回のセミナーでは、糖尿病治療の変遷を概観した上で、自身のこれまでの取り組み、これから当センターで行いたいことについてお話をさせて頂く。

座長：徳田 治彦 部長

連絡先：GSRCセンター長室(内線5002)